

新型コロナウイルス拭取り検査用試薬キット (P/N 241-20300-91)は、
①処理液、②反応液 A、③反応液 B、④反応液 C および濃縮液を含む。

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名: ①処理液 (2019-nCoV Sample Treatment Reagent)

会社名: 株式会社島津製作所
住所: 〒604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町 1
担当部門: 分析計測事業部ライフサイエンス事業統括部バイオ・臨床ビジネスユニット
電話番号: 075-823-1351
FAX 番号: 075-823-1364
用途及び使用上の制限: 研究用試薬。医療行為や診断目的には使用不可。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類: 非該当、または分類できない。
GHS ラベル要素: 非該当
危険有害性情報: —
注意書き: 【安全対策】
—
【応急措置】
—
【保管】
—
【廃棄】
—

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物
化学名 (または一般名): 混合物であるため指定できない。
成分および含有量: 水酸化ナトリウム溶液: CAS 番号(1310-73-2) 0.1%
DNTP

4. 応急措置

吸引した場合: 患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し安静にさせ、速やかに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合: 汚染した衣服を脱ぎ、触れた部分を多量の水で洗い流す。
目に入った場合: 直ちに流水で 15 分以上洗眼し、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合: 多量の水を飲ませた後吐かせ、医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消化剤: 霧状水、粉末、二酸化炭素、乾燥砂を使用する。
火災時の特有危険有害性: 燃焼により生成する煙、蒸気またはガス (一酸化炭素)
特有の消化方法: 周辺火災の場合、移動可能な容器はすみやかに安全な場所に移す。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項: 漏出時はウェス、砂等に吸収させて回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い: 吸い込んだり、目や皮膚に付着しないように、適当な保護具を着用する。
保管: 暗所に -20℃で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度: 設定されていない
管理濃度: 日本産業衛生学会 設定されていない
ACGIH(TWA/STEL) 設定されていない

設備対策： 取扱い場所の近くに手洗い、洗眼のための設備を設ける。

保護具

呼吸器の保護具： マスク
手の保護具： 保護手袋
目の保護具： 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具： 保護衣

適切な衛生対策： 産業衛生および安全の基準に基づいて取扱う。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态、形状、色など： 液体、無色透明
臭い： 無臭
融点・凝固点： データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲： データなし
引火点： データなし
蒸発速度： データなし
蒸気圧： データなし
比重(相対密度)： データなし
溶解度： 水に可溶
自然発火温度： 自然発火しない
分解温度： データなし
粘度： データなし

10. 安定性及び反応性

反応性： 危険な反応は起きない
安定性： 常温常圧で安定
危険有害反応可能性： 知見なし
避けるべき条件： データなし

11. 有害性情報

本製品(混合物)に関するデータなし。

12. 環境影響情報

本製品(混合物)に関するデータなし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。
汚染容器及び包装： 内容物を除去した後、関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。

14. 輸送上の注意

注意事項： -20℃、直射日光を避ける。転倒、落下等による容器の破損を防ぐ。
国連分類： 非該当
国連番号： 非該当

15. 適用法令

なし。

16. その他の情報

引用

- 1) (独)製品評価技術基盤機構 GHS 分類結果; http://www.safe.nite.go.jp/ghs/ghs_index.html
- 2) 化学物質総合情報提供システム(CHRIP); http://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop
- 3) 経済産業省 GHS 混合物分類判定システム ver.4.0

本書の内容は、法規改正、新しい知見や情報入手、試験等により改定されることがあります。

記載内容は現時点で入手できた資料や文献などの情報に基づいて作成しておりますが、記載の含有量、物理化学的性質等の数値や評価に関しては如何なる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであり、特殊な手扱いをする場合は、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上手扱い願います。

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名: ②反応液 A (2019-nCoV Reagent A)

会社名: 株式会社島津製作所
住所: 〒604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町 1
担当部門: 分析計測事業部ライフサイエンス事業統括部バイオ・臨床ビジネスユニット
電話番号: 075-823-1351
FAX 番号: 075-823-1364
用途及び使用上の制限: 研究用試薬。医療行為や診断目的には使用不可。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類: 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分 2A
GHS ラベル要素: 警告



危険有害性情報: 強い眼刺激
注意書き: 【安全対策】
取扱い後は手をよく洗うこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
【応急措置】
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。
【保管】
—
【廃棄】
—

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物
化学名(または一般名): 混合物であるため指定できない。
成分および含有量: トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン: CAS 番号(77-86-1) 1.7%
塩化カリウム: CAS 番号(7447-40-7) 0.6%
グリセロール: CAS 番号(56-81-5) 19.5%
ジメチルスルホキシド: CAS 番号(67-68-5) 7.8%

4. 応急措置

吸引した場合: 患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し安静にさせ、速やかに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合: 汚染した衣服を脱ぎ、触れた部分を多量の水で洗い流す。
目に入った場合: 直ちに流水で 15 分以上洗眼し、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合: 多量の水を飲ませた後吐かせ、医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消化剤: 霧状水、粉末、二酸化炭素、乾燥砂を使用する。
火災時の特有危険有害性: 燃焼により生成する煙、蒸気またはガス(一酸化炭素)
特有の消化方法: 周辺火災の場合、移動可能な容器はすみやかに安全な場所に移す。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項： 漏出時はウェス、砂等に吸収させて回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い： 吸い込んだり、目や皮膚に付着しないように、適当な保護具を着用する。

保管： 暗所に－20℃で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度： 設定されていない

管理濃度： 日本産業衛生学会 設定されていない
ACGIH(TWA/STEL) 設定されていない

設備対策： 取扱い場所の近くに手洗い、洗眼のための設備を設ける。

保護具

呼吸器の保護具： マスク

手の保護具： 保護手袋

目の保護具： 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具： 保護衣

適切な衛生対策： 産業衛生および安全の基準に基づいて取扱う。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など： 液体、無色透明

臭い： 無臭

融点・凝固点： データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲： データなし

引火点： データなし

蒸発速度： データなし

蒸気圧： データなし

比重(相対密度)： データなし

溶解度： 水に可溶

自然発火温度： 自然発火しない

分解温度： データなし

粘度： データなし

10. 安定性及び反応性

反応性： 危険な反応は起きない

安定性： 常温常圧で安定

危険有害反応可能性： 知見なし

避けるべき条件： データなし

11. 有害性情報

本製品(混合物)に関するデータなし。

12. 環境影響情報

本製品(混合物)に関するデータなし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。

汚染容器及び包装： 内容物を除去した後、関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。

14. 輸送上の注意

注意事項： －20℃、直射日光を避ける。転倒、落下等による容器の破損を防ぐ。

国連分類： 非該当

国連番号： 非該当

15. 適用法令

なし。

16. その他の情報

引用

- 1) (独)製品評価技術基盤機構 GHS 分類結果; http://www.safe.nite.go.jp/ghs/ghs_index.html
- 2) 化学物質総合情報提供システム (CHRIP); http://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop
- 3) 経済産業省 GHS 混合物分類判定システム ver.4.0

本書の内容は、法規改正、新しい知見や情報入手、試験等により改定されることがあります。

記載内容は現時点で入手できた資料や文献などの情報に基づいて作成しておりますが、記載の含有量、物理化学的性質等の数値や評価に関しては如何なる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであり、特殊な手扱いをする場合は、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上手扱い願います。

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名: ③反応液 B (2019-nCoV Reagent B)

会社名: 株式会社島津製作所
住所: 〒604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町 1
担当部門: 分析計測事業部ライフサイエンス事業統括部バイオ・臨床ビジネスユニット
電話番号: 075-823-1351
FAX 番号: 075-823-1364
用途及び使用上の制限: 研究用試薬。医療行為や診断目的には使用不可。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類: 非該当、または分類できない。
GHS ラベル要素: 非該当
危険有害性情報: —
注意書き: 【安全対策】
—
【応急措置】
—
【保管】
—
【廃棄】
—

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物
化学名 (または一般名): 混合物であるため指定できない。
成分および含有量: オリゴヌクレオチド

4. 応急措置

吸引した場合: 患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し安静にさせ、速やかに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合: 汚染した衣服を脱ぎ、触れた部分を多量の水で洗い流す。
目に入った場合: 直ちに流水で 15 分以上洗眼し、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合: 多量の水を飲ませた後吐かせ、医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消化剤: 霧状水、粉末、二酸化炭素、乾燥砂を使用する。
火災時の特有危険有害性: 燃焼により生成する煙、蒸気またはガス (一酸化炭素)
特有の消化方法: 周辺火災の場合、移動可能な容器はすみやかに安全な場所に移す。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項: 漏出時はウェス、砂等に吸収させて回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い: 吸い込んだり、目や皮膚に付着しないように、適当な保護具を着用する。
保管: 暗所に -20°C で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度: 設定されていない
管理濃度: 日本産業衛生学会 設定されていない
ACGIH(TWA/STEL) 設定されていない

設備対策: 取扱い場所の近くに手洗い、洗眼のための設備を設ける。

保護具

呼吸器の保護具: マスク
手の保護具: 保護手袋
目の保護具: 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具: 保護衣

適切な衛生対策: 産業衛生および安全の基準に基づいて取扱う。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など: 液体、薄い青色
臭い: 無臭
融点・凝固点: データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲: データなし
引火点: データなし
蒸発速度: データなし
蒸気圧: データなし
比重(相対密度): データなし
溶解度: 水に可溶
自然発火温度: 自然発火しない
分解温度: データなし
粘度: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性: 危険な反応は起きない
安定性: 常温常圧で安定
危険有害反応可能性: 知見なし
避けるべき条件: データなし

11. 有害性情報

本製品(混合物)に関するデータなし。

12. 環境影響情報

本製品(混合物)に関するデータなし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物: 関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。
汚染容器及び包装: 内容物を除去した後、関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。

14. 輸送上の注意

注意事項: -20°C、直射日光を避ける。転倒、落下等による容器の破損を防ぐ。
国連分類: 非該当
国連番号: 非該当

15. 適用法令

なし。

16. その他の情報

引用

- 1) (独)製品評価技術基盤機構 GHS 分類結果; http://www.safe.nite.go.jp/ghs/ghs_index.html
- 2) 化学物質総合情報提供システム(CHRIP); http://www.nite.go.jp/chem/crip/crip_search/systemTop
- 3) 経済産業省 GHS 混合物分類判定システム ver.4.0

本書の内容は、法規改正、新しい知見や情報入手、試験等により改定されることがあります。

記載内容は現時点で入手できた資料や文献などの情報に基づいて作成しておりますが、記載の含有量、物理化学的性質等の数値や評価に関しては如何なる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであり、特殊な手扱いをする場合は、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上手扱い願います。

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名: ④反応液 C (2019-nCoV Reagent C)

会社名: 株式会社島津製作所
住所: 〒604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町 1
担当部門: 分析計測事業部ライフサイエンス事業統括部バイオ・臨床ビジネスユニット
電話番号: 075-823-1351
FAX 番号: 075-823-1364
用途及び使用上の制限: 研究用試薬。医療行為や診断目的には使用不可。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類: 非該当、または分類できない。
GHS ラベル要素: 非該当
危険有害性情報: —
注意書き: 【安全対策】
—
【応急措置】
—
【保管】
—
【廃棄】
—

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物
化学名 (または一般名): 混合物であるため指定できない。
成分および含有量: Tris Base

4. 応急措置

吸引した場合: 患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し安静にさせ、速やかに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合: 汚染した衣服を脱ぎ、触れた部分を多量の水で洗い流す。
目に入った場合: 直ちに流水で 15 分以上洗眼し、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合: 多量の水を飲ませた後吐かせ、医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消化剤: 霧状水、粉末、二酸化炭素、乾燥砂を使用する。
火災時の特有危険有害性: 燃焼により生成する煙、蒸気またはガス (一酸化炭素)
特有の消化方法: 周辺火災の場合、移動可能な容器はすみやかに安全な場所に移す。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項: 漏出時はウェス、砂等に吸収させて回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い: 吸い込んだり目や皮膚に付着しないように、適当な保護具を着用する。
保管: 暗所に -20°C で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度: 設定されていない
管理濃度: 日本産業衛生学会 設定されていない
ACGIH(TWA/STEL) 設定されていない

設備対策： 取扱い場所の近くに手洗い、洗眼のための設備を設ける。

保護具

呼吸器の保護具： マスク
手の保護具： 保護手袋
目の保護具： 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具： 保護衣

適切な衛生対策： 産業衛生および安全の基準に基づいて取扱う。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态、形状、色など： 液体、無色透明
臭い： 無臭
融点・凝固点： データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲： データなし
引火点： データなし
蒸発速度： データなし
蒸気圧： データなし
比重(相対密度)： データなし
溶解度： 水に可溶
自然発火温度： 自然発火しない
分解温度： データなし
粘度： データなし

10. 安定性及び反応性

反応性： 危険な反応は起きない
安定性： 常温常圧で安定
危険有害反応可能性： 知見なし
避けるべき条件： データなし

11. 有害性情報

本製品(混合物)に関するデータなし。

12. 環境影響情報

本製品(混合物)に関するデータなし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。
汚染容器及び包装： 内容物を除去した後、関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。

14. 輸送上の注意

注意事項： -20°C、直射日光を避ける。転倒、落下等による容器の破損を防ぐ。
国連分類： 非該当
国連番号： 非該当

15. 適用法令

なし。

16. その他の情報

引用

- 1) (独)製品評価技術基盤機構 GHS 分類結果; http://www.safe.nite.go.jp/ghs/ghs_index.html
- 2) 化学物質総合情報提供システム(CHRIP); http://www.nite.go.jp/chem/crip/crip_search/systemTop
- 3) 経済産業省 GHS 混合物分類判定システム ver.4.0

本書の内容は、法規改正、新しい知見や情報入手、試験等により改定されることがあります。

記載内容は現時点で入手できた資料や文献などの情報に基づいて作成しておりますが、記載の含有量、物理化学的性質等の数値や評価に関しては如何なる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであり、特殊な手扱いをする場合は、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上手扱い願います。

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名: 濃縮液

会社名: 株式会社島津製作所
住所: 〒604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町 1
担当部門: 分析計測事業部ライフサイエンス事業統括部バイオ・臨床ビジネスユニット
電話番号: 075-823-1351
FAX 番号: 075-823-1364
用途及び使用上の制限: 研究用試薬。医療行為や診断目的には使用不可。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類: 非該当、または分類できない。

GHS ラベル要素: 非該当

危険有害性情報: —

注意書き: 【安全対策】

—

【応急措置】

—

【保管】

—

【廃棄】

—

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物
化学名 (または一般名): 混合物であるため指定できない。
成分および含有量: ポリエチレングリコール

4. 応急措置

吸引した場合: 患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し安静にさせ、速やかに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合: 汚染した衣服を脱ぎ、触れた部分を石鹸と多量の水で洗い流す。炎症を生じた場合は、医師の手当てを受ける。
目に入った場合: 目に入った場合: 直ちに流水で 15 分以上洗眼し、医師の手当てを受ける。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合: 医師の診察／手当てを受けること。
飲み込んだ場合: 多量の水を飲ませた後吐かせ、医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消化剤: 霧状水、粉末、二酸化炭素、乾燥砂を使用する。
火災時の特有危険有害性: 燃焼により生成する煙、蒸気またはガス (一酸化炭素)
特有の消化方法: 周辺火災の場合、移動可能な容器はすみやかに安全な場所に移す。火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消化する。移動不可能な場合は容器の周辺を水で冷却する。消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。適切な保護具を着用し、眼や皮膚に付着しないようにする。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項: 漏出時はウェス、砂等に吸収させて回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い： 吸い込んだり、目や皮膚に付着しないように、適当な保護具を着用する。
保管： 暗所に－20℃で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度： 設定されていない
管理濃度： 日本産業衛生学会 設定されていない
ACGIH(TWA/STEL) 設定されていない
設備対策： 取扱い場所の近くに手洗い、洗眼のための設備を設ける。
保護具
呼吸器の保護具： マスク
手の保護具： 保護手袋
目の保護具： 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具： 保護衣
適切な衛生対策： 産業衛生および安全の基準に基づいて取扱う。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态、形状、色など： 液体、無色透明
臭い： 無臭
融点・凝固点： データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲： データなし
引火点： データなし
蒸発速度： データなし
蒸気圧： データなし
比重(相対密度)： データなし
溶解度： データなし
自然発火温度： 自然発火しない
分解温度： データなし
粘度： データなし

10. 安定性及び反応性

反応性： 危険な反応は起きない
安定性： 常温常圧で安定
危険有害反応可能性： 知見なし
避けるべき条件： データなし

11. 有害性情報

本製品に関するデータなし。

12. 環境影響情報

本製品に関するデータなし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。
汚染容器及び包装： 内容物を除去した後、関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。

14. 輸送上の注意

注意事項： -20℃、直射日光を避ける。転倒、落下等による容器の破損を防ぐ。
国連分類： 非該当
国連番号： 非該当

15. 適用法令

なし。

16. その他の情報

引用

- 1) (独)製品評価技術基盤機構 GHS 分類結果; http://www.safe.nite.go.jp/ghs/ghs_index.html
- 2) 化学物質総合情報提供システム (CHRIIP); http://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop
- 3) 経済産業省 GHS 混合物分類判定システム ver.6.0

本書の内容は、法規改正、新しい知見や情報入手、試験等により改定されることがあります。

記載内容は現時点で入手できた資料や文献などの情報に基づいて作成しておりますが、記載の含有量、物理化学的性質等の数値や評価に関しては如何なる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合は、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上取扱い願います。